

風水害・土砂災害に備えて

これからの季節、大雨や台風等による水害、土砂災害が心配されます。

災害から身を守るには、最新の気象情報を入手し、万全の対策をとることが大切です。



●土砂災害に気を付けよう

土砂災害は、大雨や地震などによって弱くなった斜面が、がけ崩れを起こすものです。特に梅雨や台風の時期は注意が必要です。一般的に、1時間に20mm以上または降り始めから100mm以上の雨が降り続いたら、がけ崩れの危険性が高まります。

●土砂災害の種類

①がけ崩れ

地面に染み込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。

～こんな前ぶれに注意！～

- ・小石がパラパラ落ちる
- ・がけから水がわく
- ・がけに亀裂が入る
- ・がけから音がする

②地滑り

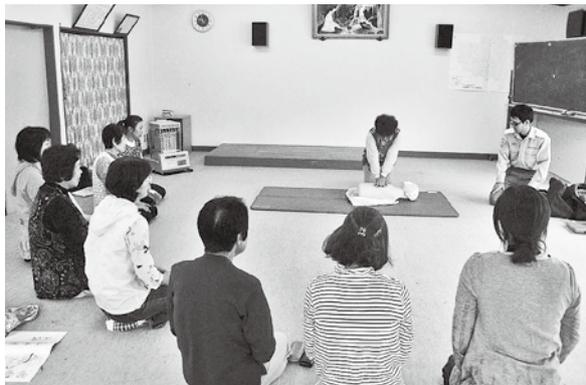
比較的緩やかな斜面で粘土などの滑りやすい層を境に、その上の土がそっくり動き出す現象。

～こんな前ぶれに注意！～

- ・地面にひび割れができる
- ・井戸や沢の水が濁る
- ・がけや斜面から水が噴き出す
- ・地面の一部が陥没する

●家の中や周囲をチェックしよう

- | | | |
|------------|---------------------------------------|-------------|
| 家の中 | ・気象情報、防災機関等の広報を注意深く聞く | ・外出はしない |
| | ・家族で避難場所や連絡方法の確認をする | ・非常持出品を確認する |
| 家の外 | ・屋根、外壁、窓、雨戸等に破損個所がないか確認 → 破損個所は修理しておく | |
| | ・ベランダや庭の鉢植え、物干しざおは飛散しないように屋内へしまう | |



薩郷女性防火クラブ ～地域の命は私たちが守る！～

5月26日、薩郷女性防火クラブ（高野美智子会長）は、クラブ員を対象に、適切な応急手当について学ぶ普通救命講習を実施しました。

消防署員の指導のもと、自動体外式除細動器（AED）の使用方法や心肺蘇生法、大出血時の止血法、やけどの処置法などの応急手当について熱心に受講しました。

住宅用火災警報器を設置しましょう。

2013年度全国統一防火標語

消すまでは 心の警報 ONのまま